



令和7年5月30日(金)発行

府中市立府中第九小学校

校長 日野 正宏



6月号

苦手な事でも粘り強く続けてみたら

副校長 阿部 隆次

私には3歳年上の兄がいます。常に私の前を走り続ける尊敬すべき兄は、学生の頃に献血を始めました。注射には苦手意識があり、小学生時代はまだ学校で予防接種をしていた頃は、出席番号が1番で人一倍プレッシャーを感じながら順番を待っていた私にとって、献血は非常に高いハードルでした。しかしいつの頃からか兄をまねて献血をするようになりました。ご存じの通り血液は人工的に作ることができません。手術や負傷により輸血が必要になったときには、献血だけが頼りです。また血液を材料とした薬の製造や研究に役立つのかと思うと、いつの間にか我慢できるようになりました。そんな献血ももうすぐ100回目を迎えます。考えてみると1回で400mLの採血をするので、100回で40L分の献血を20年に渡って続けてきたことになります。私の些細な協力で命が助かったり、健康になったりした人がいるのだとすれば、多少の痛みなど何でもありません。ただ血液は長期の保存が効きませんので、これからも定期的に献血し続けることが必要です。苦手な事でも継続することの尊さと大切さを改めて感じています。今でも注射は嫌いですが献血を続けていくつもりです。

先日、担任教員が出張のため、教室に給食の時間の指導をする機会がありました。教室で子供たちの様子を観るのが大好きな私は、給食を食べながら子供たちとの会話を楽しんだのですが、その中で「苦手だった野菜が食べられるようになった」ということが話題になりました。思えば子供の頃、ピーマンやパセリなどの苦い野菜が苦手で、「なぜこんな食べ物があるのだろう」と不思議に思った位でした。しかし大人になってみると、あの苦み、フレーバーが美味しく、今では生のピーマンを食べるのが好きになった位です。そんな話をすると、驚いた顔をする子がいる一方、苦手な野菜を前に「早く大人になりたいなあ」とつぶやいた子もいました。

子供に限らず大人であっても、人は潜在的に苦手を克服したいという気持ちをもっているものです。しかしそれは決して容易なことではありません。九小で毎日、好きなことにも苦手なことにも挑戦を続けている子供たちは、勇気をもって努力を継続しています。この努力を継続の結果が子供たちの成長となり、最終的には子供たち一人一人の「なりたい自分」につながることを確信しています。九小の子供たちには、明るい将来に向けてこれからも粘り強く努力することを大切にしていって欲しいと思います。先日の運動会に向けた練習を見ても、運動が苦手な様子の子も見受けられました。他にも「大きな演技ができていない」、「動きが揃わない」等、悩みながら試行錯誤を重ねて準備をすすめて、当日を迎えた子もいたはずですが、しかしいざ当日を迎えてみると、子供たちは本当に立派で、保護者の皆様の目の前で誇らしく、生き生きと精一杯の演技と競技で、運動会を大成功に導く原動力となりました。

また一つ、苦手や困難を克服して大きくなった九小の子たちを、これからも精いっぱい、応援し続けていきたいと思っています。そして私自身も子供たちに負けないように、献血に限らず苦手な事にも挑戦して、精進を重ねていきます。

【九小のためにありがとうございました】九小を去られた教職員からのあいさつ

K R 主任教諭(元5年1組担任)

府中市立武蔵台小学校へ転任

九小のみなさん、お元気ですか。先日は、たくさんの心のこもったお手紙をありがとうございました。これまでの思い出や楽しかった行事や授業のことを書いてくれて、本当にうれしかったです。それと同時に驚いたのが、どの子も、心に残っていることが様々で、一人ひとりの個性を感じました。そして、「今」が充実していることが分かり、安心しました。九小のみなさんは、どんな友達にも優しく、相手のよさや得意なことをよく分かっていますね。それと同時に、苦手なことも分かっているから、それもその子らしさだと思って接することができます。あるドラマで、昭和も令和も、時代を超えて大切なものは「寛容」であることと言っていました。九小の子供たちは、時代の最先端だと思いました。これからも、その「自分も相手も大事にすること」が当たり前のようにできる皆さんでいてください。また、会える日を楽しみにしています。

K Y 主任教諭(元ふたば教室担任)

国立市立国立第五小学校へ転任

6年間大変お世話になりました。ふたば学級で過ごした6年間は、毎日、子供も大人も一緒になって頑張って、笑って、泣いて・・・まるで家族のような時間を過ごしてきました。そんな子供たちと過ごした時間には、多くの思い出が詰まっています。九小を離れた今、一人一人の顔を思い出しては「元気にしているかな？」と頑張る姿を思い浮かべています。離れた場所からも、いつまでも応援しています。本当にありがとうございました。

H K 養護教諭

国立市立国立第六小学校へ転任

2年間、大変お世話になりました。養護教諭として、全校の子どもたちと関わり、心と体の成長を見守ることができたこと、とても幸せでした。素直で明るくて元気いっぱいな九小の皆さんが大好きです。これからも自分を大切に、生き生きとした活気ある日々を送ってください。ずっと応援しています。九小を離れるのはさみしいですが、先生も皆さんの笑顔を思い出しながら、新たな場所で頑張ります。

また、行き届かない点が多々あったかと思いますが、いつも温かく支えてくださった教職員、保護者の皆様、地域の皆様に感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

熱中症予防要配慮期間が始まります

生活指導主任 S N

学校だより5月号でもお知らせしましたが、府中市では6月から9月までの間を「熱中症予防要配慮期間」とし、熱中症リスクの高い活動を別の時期に行う等、児童の安全を図る取組を行います。まずは熱中症リスクを減らすために、教育活動の時期や場所を変更したり、内容を見直したりします。本校では、熱中症指数の高い日の休み時間には学年ごとにクーラーの効いた体育館で遊ぶ時間をつくる、校庭のミストシャワーを増設する、テントを常設して日陰を増やす、帽子や日傘の使用を推奨する取組等を行う予定です。熱中症の予防にはご家庭の協力が欠かせません。ご家庭におきましても、しっかりと睡眠、確実に食事をとらせるなど、熱中症予防にご協力をお願いいたします。



運動会へのご協力ありがとうございました

運動会委員長 Y M

5月24日に令和7年度の運動会を開催しました。この週は30度越えの日もあり、運動会当日も暑さが心配されましたが、幸いにして天候に恵まれ、子供たちは涼しい中で日頃の練習の成果を全力で発揮することができました。各学年の表現運動では、それぞれにストーリー性があり、一人一人の練習の成果や努力の賜物だと感じられました。そして、何よりも子供たちの演技中の表情が生き生きと輝いていたのが印象的で、「行事が子供を成長させる。」とはまさしくこの



ことだと改めて気付かせていただきました。今年度は表現、徒競走に加えて新たに団体競技を追加しましたが、それぞれの競技の中で仲間と協力し、自分たちで話し合って動きを工夫していた様子が見られ、徒競走とは違った新たな一面をお見せすることができたのではないのでしょうか。保護者の皆様には、お子様の体調管理や衣装の準備、当日の温かい応援等たくさんのご協力をいただきありがとうございました。ま

た前日の会場設営の際にはPTAの皆様にはテントの設営を手伝っていただき、子供たちの熱中症対策、安全確保のためにご協力をいただきました。その他にも会場の後片付けや駐輪場の整理等、多くの保護者の皆様やPTAの担当の皆様、サーモン会(OB・OG)の皆様に、当日もお力添えをいただき、運動会を支えていただきました。ご協力をいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。



連合遠足に行ってきました

ふたば学級主任 K R

ふたば学級では、4月25日に連合遠足に参加しました。連合遠足とは、市内で特別支援学級が設置されている全ての小学校が合同で行う遠足です。目的地は今年も都立小金井公園でした。この日のために、学校近くの「お鷹の道」から黒鐘公園まで隊列を組んで歩く歩行訓練をしたり、楽しいレクの練習をしたりして準備を重ねてきました。遠足の当日は、直前まで降っていた雨の影響で、遊具や草むらが濡れている箇所があったのですが、日の照り方は少なく、熱中症を心配せずに思いきり元気よく遊ぶことができました。他校の特別支援学級の子供たちとともに遊ん



だじゃんけん列車やアスレチック、南町小学校の子供たちとの「さめおにごっこ」など、楽しい活動がたくさんありましたが、中でも楽しかったのは、「そり遊び」でした。今年は雨のおかげで例年よりも人工芝の滑りが良く、スピードが増したことで、楽しさが倍増したようでした。帰校した時には、みんなとても疲れていましたが、充実した疲れとなり、子供たちは笑顔いっぱい下校できました。さて、来年はどんな遠足になるか、今からとても楽しみにしています。

サポートルーム、開設しています

副校長 阿部 隆次

府中市教育委員会の施策により、府中市内の全公立小中学校ではサポートルームを開設しています（詳しくは右の二次元コードからご確認ください）。サポートルームとは、学校に行きづらい、教室に入りづらい、という生徒・児童のための居場所であり、また学習の場でもあります。本校でも昨年度から原則毎日、朝 9 時から 6



校時終了時までの時間にサポートルーム担当の支援員が常駐して、児童の見守りや学習支援等、受け入れるための態勢を整えています。既に利用している児童も何名かおられますが、サポートルームの利用に際しては保護者の方との相談が必要です。利用に関することやご不明な点、ご相談等ありましたら、担任または副校長までご連絡ください。



英語 enjoy week の取組について

教務主任 Y Y

「英語 enjoy week」は、英語に触れる機会をより意識してつくる1週間です。お昼の校内放送では、英語の曲や短い物語を流す予定です。子供たちがより英語に親しみをもつことを願っています。

6月の主な予定

日	曜日	予定
1	日	
2	月	全校朝会 TGG (5年生) 5時間授業 (2, 3, 4, 6年生)
3	火	あんぜんの日 体カテスト①
4	水	体カテスト②
5	木	体カテスト予備日 こころの劇場 (6年生)
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	全校朝会 開校記念日 クラブ活動 避難訓練 英語エンジョイウィーク始
10	火	歯科検診 (5, 6年生、ふたば) PTA美化デー
11	水	B時程 全校4時間授業 小中連携の日
12	木	歯科検診 (3, 4年生) フレンド学級
13	金	
14	土	B時程 土曜授業日 (4時間授業) 水道キャラバン (4年生)
15	日	

日	曜日	予定
16	月	土曜授業日振替休業日
17	火	あいさつ運動始 (27日まで) 農工大見学 (ふたば)
18	水	
19	木	歯科検診 (1, 2年生)
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	全校朝会 クラブ活動
24	火	
25	水	B時程 校内研究授業 (5年生)
26	木	リコーダーワークショップ (3, 4年生)
27	金	あいさつ運動終 セーフティ教室 わくわく自然教室説明会 (5年生) 午後3時～
28	土	
29	日	
30	月	全校朝会 委員会活動